

## 大学ポートレート運営会議（第23回）議事要旨

1. 日 時 令和7年9月10日（水） 13:30～14:15

開催方法 オンラインにより開催

### 2. 出席者

[委員] 浅井委員、喜納委員、近藤委員、沢委員、志賀委員、西原委員、日比谷委員（議長）、

光石委員、水戸委員（副議長）、村崎委員、吉田委員

[オブザーバー] 太田高等教育政策室室長補佐、野村高等教育政策室専門職

（以上、文部科学省高等教育局）

[事務局] 成相大学ポートレート・大学情報基盤センター副センター長、

堀内大学ポートレート・大学情報基盤センター事務室長、

布施大学ポートレート・大学情報基盤センター事務室室長補佐

（以上、大学改革支援・学位授与機構）、

家坂私学経営情報センター長、外川私学経営情報センター私学情報室長

（以上、日本私立学校振興・共済事業団）

### 3. 議 題

(1) 学校教育法施行規則改正への対応について

(2) 大学ポートレートにおける機能拡充・改修について

(3) 大学ポートレートステークホルダー・ボードについて

(4) 大学ポートレートの現状について

(5) その他

### 4. 配付資料

資料1 大学ポートレート運営会議委員名簿

資料2 大学ポートレート運営会議（第22回）議事要旨（案）

資料3-1 学校教育法施行規則改正への大学ポートレート（私学版）の対応  
（別紙）（私学版）大学等への公表要請度（案）

資料3-2 大学ポートレート（私学版）公表項目一覧（案）

資料4-1 お気に入り一覧表示機能の「入試」表示項目の変更について（案）

- 資料4-2 高校生向けページの掲載について（案）
- 資料4-3 大学・短期大学一覧の掲載について（案）
- 資料4-4 大学ポートレート共通検索画面への検索項目の追加について（案）
- 資料5 ステークホルダー・ボードに意見等を伺う項目（案）
- 資料6 これまでの大学ポートレートの改善状況について
- 資料7 令和7年度大学ポートレート参加状況
- 資料8 大学ポートレート公表画面へのアクセス数について
- 参考資料1 大学ポートレート運営会議関係規則等
- 参考資料2 学校教育法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）（令和6年9月30日付け6文科高第1004号）
- 参考資料3 大学ポートレート運営会議（第22回、R7.3.5）資料5-1

初めに、委員の交代があったことに伴い、新委員として喜納委員、吉田委員の紹介があった。次に、大学ポートレート運営会議（第22回）の議事要旨の確認ののち、議題について協議が行われた。主な内容は次のとおり。

#### （1）学校教育法施行規則改正への対応について

- ・堀内事務室長より、資料3-1、3-2、参考資料2、3に基づき、令和7年4月1日に施行された学校教育法施行規則改正への大学ポートレート私学版の対応案について説明があり、原案のとおり承認された。

#### （2）大学ポートレートにおける機能拡充・改修について

- ・堀内事務室長より、資料4-1～4-4に基づき、お気に入り一覧表示機能の「入試」表示項目の変更、高校生向けページの掲載、大学・短期大学一覧の掲載、大学ポートレート共通検索画面への検索項目の追加について説明があり、原案のとおり承認された。

#### <主な意見>

【西原委員】 大学・短期大学一覧の管理や更新はどこが行うのか。大学の募集停止や改組に都度対応する必要があるかと思う。

【布施事務室長補佐】 ポートレート・大学情報基盤センター事務室において、大学ポートレートへの参加状況を確認の上、年度毎での更新を予定している。一覧に掲載するのは大学名の

みを想定しており、学部・学科・研究科等は掲載しない。

【日比谷議長】 共通検索画面への検索項目の追加について、追加しようとする検索項目名が国公立版では「専攻分野」、私学版では「学問領域および学問の詳細」と異なっているが、どのように調整するのか。

【布施事務室長補佐】 日本私立学校振興・共済事業団や私学団体と検討したい。なお、検索項目に含まれている内容はほぼ同じものである。

【水戸副議長】 このような方向で利便性の向上を進めていくべきだ。名称は利便性を踏まえて検討してほしい。

【日比谷議長】 利用者にとって分かりやすいことが重要である。その観点で検討してほしい。

### (3) 大学ポートレートステークホルダー・ボードについて

・堀内事務室長より、資料5に基づき、大学ポートレートステークホルダー・ボードの開催について説明があり、原案のとおり承認された。

### (4) 大学ポートレートの現状について

・堀内事務室長より、資料6に基づき、大学ポートレートにおける主な取組について説明があった。その後、資料7及び資料8に基づき、大学ポートレートの参加状況及びアクセス数について報告があった。

#### <主な意見>

【沢委員】 アクセス数が減少していることに関して、要因等の分析はされているか。

【布施事務室長補佐】 資料に示しているのは大学ポートレートの国公立版と私学版のアクセス数の合計値であるが、全体としての要因分析には至っていない。国公立版については、ステークホルダーからの認知度が低いことが大きな要因の一つであり、多くの方に大学ポートレートを知っていただく取組が必要だと考えている。

【日比谷議長】 周知する努力についてはどのような状況か。

【布施事務室長補佐】 令和7年度の新たな取組としては、約5,000校ある高等学校の進路指導主事の方に対してダイレクトメールを送付した。送付による効果はまだ測定中であるが、送付直後のアクセス数はやや上振れしたようである。そのほか、高校関係者の方が集まる会議等での資料配布は従来から引き続き行っている。

【沢委員】 ほとんどの情報はインターネットで得ることができる状況の中で、大学ポートレ

トに掲載されている項目が適正であるのかという検討も今後必要ではないか。

【布施事務室長補佐】 大学に関する情報を掲載している民間のウェブサイトでは入試情報が比較的多い。一方、大学ポータルでは教育課程や授業料、奨学金、卒業後の進路等、入学から卒業までの幅広い情報を掲載しており、民間のウェブサイトとは少し位置付けが異なるといえる。まずは利用者に知っていただいた上で、どう判断されるかというところかと思う。

【光石委員】 アクセス数のピークは2021年で、新型コロナウイルスの流行で大学のオープンキャンパス等に行くことができなかった時期と重なる。以降、オープンキャンパス等が再び開催されるようになったことや、各大学のウェブサイトが充実してきたことは、大学ポータルのアクセス数減少と無関係ではないと考える。

【近藤委員】 今回提案があった高校生向けのページには期待するものの、それをどのように高校生に対して周知するのかという課題がある。高校生だけでなく、リカレントやリスキリングを目的とする社会人がどこにアクセスしてよいか分からないという声も聞くので、社会人向けの方向性もあるかと思う。アクセス数だけが指標ではないが、情報が欲しい人に届くよう入口を作っていく必要がある。

【日比谷議長】 民間のウェブサイトは入試情報が中心になるのは致し方ないが、大学を総体として捉えるという意味では重要な事業だと思うので、関心を持ってもらうことや、一覧性があることを大事にしつつ工夫をお願いしたい。

## (5) その他

- ・「我が国の「知の総和」向上の未来像 ～高等教育システムの再構築～（答申）」（令和7年2月 中央教育審議会）について、質疑応答があった。

### <主な意見>

【近藤委員】 「知の総和」答申の中で大学ポータルについても触れられており、これまでの経験を基にしながら新たなデータプラットフォームをつくるという、Univ-map（仮称）の構想について記載されている。Univ-map（仮称）と大学ポータルの棲み分けや方向性について、この会議でも検討する必要があるのか、情報があれば伺いたい。

【堀内事務局長】 当機構としては中央教育審議会やその下の担当部会及びワーキンググループの議論を注視しているところである。

【太田高等教育政策室室長補佐】 Univ-map（仮称）は、新しい評価制度に関わるものであるが、設置者別ではない新たなデータプラットフォームとして検討されており、大学ポータル

と役割が重複する部分もある。その棲み分け等については大学改革支援・学位授与機構と連携をとりつつ、中央教育審議会の有識者会議等でも引き続き検討をしていく必要がある。検討の内容については追ってこの会議にも共有させていただきたい。

以 上